

農業委員会だより

編集 農業委員会広報部会

第67号

新体制スタート

町長から任命された農業委員14名と、農業委員会から委嘱された農地利用最適化推進委員5名の皆さんに抱負を伺いました。

【農業委員】

○農業委員長

山本 善孝(宮・二期目)



農業環境が厳しくなる中、今年度微力ながら山ノ内町農業委員長を務めることになり責任の重さを感じております。昨今、農業従事者の高齢化、担い手不足による遊休農地の増加など、当町内でも当たり前のようになっています。委員全員で解決していけるよう少しでも手助けできるように、力を合わせて町の農業が発展することを目標として委員会活動を努めて参ります。また、地域の農地を活かし、担い手の期待に応えていくため全力を尽くしていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

○農業委員会長代理

上原 仁(寒沢・二期目)



やっと少しずつではありますが、農業委員の仕事がわかってきたところです。最近、異業種から農業を始めるため、農

地を借りたり、高齢のため農業をやめられる方もあり、うまく結び付けられればと思っています。時代と共に変化している昨今、地域の農地が少しでも荒れないよう、お役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いたします。

○農地部会長

望月 美知子(下須賀川・二期目)



農業委員二期目となりました。農地パトロールをしてみて、年々遊休農地が増え、そのためイノシシやクマなどの被害も多発し、農業を取り巻く環境の厳しさを目の当たりにしました。農地の有効活用に向けて、就農しやすい環境づくりの対策会議にも多くの皆さまに参加していただき、行政と地域を繋ぐ役目に少しでも力になれるよう努めていきたいと思います。

○農地副部会長

湯本 浩(和田・一期目)



今年から農業委員になりました上原の湯本浩です。最近の農業は、高齢化や荒廃農地の増加、後継者不足等々問題を抱えています。新時代の農業が楽しく夢のあるものになるよう、皆さんと共に頑張りたいと思います。微力ではありますが、よろしくお願いたします。

○農政部会長

藤浦 忠広(本郷三・二期目)



担い手の高齢化等により、耕作されなくなつた畑を多く目にします。五年後、十年後、この美しい農村はどうなっているのかを想像したとき、悲観的な情景が容易に浮かびます。そうならないために、農業委員の役割である農地の利用集積、荒廃地の解消、担い手確保等を農家の皆さまのご協力のもと、全力で取り組んでいきたいと思います。

○農政副部会長

佐藤 次雄(沓野下・一期目)



今年度より農業委員になりました沓野の佐藤次雄です。何も知らず、何もわからず地区の推薦により委員になってしまいました。先輩委員の皆さまをはじめ、地区の方々のご指導をいただき山ノ内町で農業に勤しんでいる仲間と共に、町の農業振興に貢献し重責を務めていきたいと思います。皆さまのご協力をお願いいたします。

○農業者年金加入推進部長

齊藤 蝶次郎(横倉三の四・一期目)



農業委員とは、何もわからず就任して、初めて職の大変さを知り、自分ではできないのか不安になりましたが、これからは勉強して地域の農業に協力していきたいと思っております。農家が農業をやりやすいように、皆さまと共に考えていきたいと思いますので、ご指導ご協力をいただきながら務めさせていただきます。

○広報副部会長

渡辺 輝子(宇木二・一期目)



県農村生活マイスターより推薦、選出された農業委員としての活動が始まりました。昨年は世界中で様々な活動が制限される大変な一年でしたが、日々変わることもなくできる農業という仕事の大切さ・ありがたさを痛感した一年でもありました。知識や経験等少ない私ですが、先輩委員や地域の皆さまのご指導をいただきながら農業・農地について学び、高品質でおいしい農作物を育む大切な農地を守り、有効活用の継続ができるよう努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

○福井 敏彦(乗廻・一期目)



農業に関する知識も経験もなく、大役を受諾し右往左往しております。高齢化、後継者不足により荒れた農地が目立ち、環境、美観が損なわれているこの頃です。新しく農業を始める人たちが、やる気の出る、儲かる、魅力ある農業環境を作っていければと思っております。先輩や地域の皆さまの話をよく聞きながら、一緒に考え、行動し、要望に応えられ喜ばれるよう、微力ではありますが努めて参りたいと思っております。

○北原 元明(仲屋敷・二期目)



農業従事者の高齢化、農業後継者の不足等から耕作放棄地の増大等々、大変厳しい状況下になることが予想されます。

○白鳥 金次(菅一・一期目)
町の農業は、基幹産業として脈々と受け継がれてきました。その時代、時代において、抱えている問題を解決し現代に至っています。少子高齢化の今日、新規就農者や後継者の方々とこれからの地域の農業について話し合いを活性化していく中で、地域住民の皆さまにも、農村の景観維持確保の観点から話し合いの輪に参加していただき、持続可能な地域産業として次の世代に継承していきたいと思っています。



○湯本 貴文(宇木一・一期目)
今期より農業委員を務めることになり、自分はこの職責が務まるのか不安です。前任者の青木さんは、長期間農業委員を務められ、地元の皆さまに大変感謝されておりますし、またご苦労されたことも多かつたと思います。心より御礼申し上げます。その後を引き継ぐ自分、青木さんのように務まるのかとプレッシャーを強く感じています。いい意味で聞き直り、自分のできる仕事をやろうと思う次第です。力不足ではありますが、何卒皆さま方のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



○湯本 幸作(立川・一期目)
この度、農地利用最適化推進委員という役職をいただきましたが、何をどのように取り組んでいけば良いのかわかりません。農地利用の最適化には、遊休農地が多く見受けられ、また新規参入がまだまだのように思います。このような点に取り組みながら、地域のため最適に取り組んで進めていきたいと思っております。地域農業の代表として、十分に成果を上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



○湯本 久万(宇木三・一期目)
今年度から推進委員に委嘱されました。仕事の内容も分かりませんが、先輩委員さんのご指導をいただきながら、遊休農地の増加、後継者不足等の問題に対応し、地域農業振興のお役に立てるように努めて参りたいと思っておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。



○湯本 武彦(佐野上・一期目)
今年度から、農地利用最適化推進委員に委嘱されました。農業者の高齢化、後継者不足、有害鳥獣の被害などにより、中間地の農業は厳しく、遊休農地、耕作放棄地が増大しております。少しでも魅力ある土地活用ができるよう、地域の皆さまと共に考え、行動していきたいと思っております。農業の発展のため、微力ではありますが努めさせていただきます。よろしくお願いたします。



○山口 剛(金倉・一期目)
農業委員会からの委嘱により、今年度より農地利用最適化推進委員を務めさせていただきます。遊休農地、耕作放棄地を如何に減らしていけるか考え努めて参りたいと思っております。



○湯本 幸作(立川・一期目)
この度、農地利用最適化推進委員という役職をいただきましたが、何をどのように取り組んでいけば良いのかわかりません。農地利用の最適化には、遊休農地が多く見受けられ、また新規参入がまだまだのように思います。このような点に取り組みながら、地域のため最適に取り組んで進めていきたいと思っております。地域農業の代表として、十分に成果を上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

ご意見・ご感想をお寄せください

農業委員会 TEL 33-31112
事務局 FAX 33-1104

【最適化推進委員】

○広報部会長

湯本 智明(下手・二期目)

農業を取り巻く環境は、年々厳しさを増していると思っております。高齢化の問題・荒廃地の増加は、当町においても例外ではありません。一期目の時は、何をやっていいのかかわからないことが多くありましたが、今までの経験を活かし、地域の方々に積極的に声をかけ農地のマッチングをしていき、先人たちの残してくれた農地を大切にしていきたいと思っております。少しずつですが、後継者・新規就農者が増え、頑張つて農業をしています。彼らが「山ノ内町で農業をやつていて良かった」と感じられるよう、少しでも力になれると思います。地域の方々のご理解ご協力をいただきながら、推進委員の仕事をしていきたいと思っております。

○湯本 幸作(立川・一期目)
この度、農地利用最適化推進委員という役職をいただきましたが、何をどのように取り組んでいけば良いのかわかりません。農地利用の最適化には、遊休農地が多く見受けられ、また新規参入がまだまだのように思います。このような点に取り組みながら、地域のため最適に取り組んで進めていきたいと思っております。地域農業の代表として、十分に成果を上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

○湯本 武彦(佐野上・一期目)
今年度から、農地利用最適化推進委員に委嘱されました。農業者の高齢化、後継者不足、有害鳥獣の被害などにより、中間地の農業は厳しく、遊休農地、耕作放棄地が増大しております。少しでも魅力ある土地活用ができるよう、地域の皆さまと共に考え、行動していきたいと思っております。農業の発展のため、微力ではありますが努めさせていただきます。よろしくお願いたします。

○湯本 貴文(宇木一・一期目)
今期より農業委員を務めることになり、自分はこの職責が務まるのか不安です。前任者の青木さんは、長期間農業委員を務められ、地元

○湯本 幸作(立川・一期目)

この度、農地利用最適化推進委員という役職をいただきましたが、何をどのように取り組んでいけば良いのかわかりません。農地利用の最適化には、遊休農地が多く見受けられ、また新規参入がまだまだのように思います。このような点に取り組みながら、地域のため最適に取り組んで進めていきたいと思っております。地域農業の代表として、十分に成果を上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

○湯本 武彦(佐野上・一期目)
今年度から、農地利用最適化推進委員に委嘱されました。農業者の高齢化、後継者不足、有害鳥獣の被害などにより、中間地の農業は厳しく、遊休農地、耕作放棄地が増大しております。少しでも魅力ある土地活用ができるよう、地域の皆さまと共に考え、行動していきたいと思っております。農業の発展のため、微力ではありますが努めさせていただきます。よろしくお願いたします。

よろしく

お願いいたします！

○小池 俊治(前坂・一期目)
今年度より農業委員の一員となり、十分な知識経験の無いままご推薦いただき、責務の重大さを痛感しているところです。今現在、農業従事者の高齢化、後継者問題による、遊休農地・荒廃地の増加が進んでおり、有害鳥獣たちの隠れ家、住処になっているのが現状です。少しでも荒廃地を減らし、魅力ある農業のために微力ではありますが、地域農業発展に努力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。



○下田 和浩(表落合・一期目)
今年度から農業委員になりました表落合の下田和浩です。私は、会社員で営業をしています。山ノ内町、中野市、小布施町、高山村、須坂市、若穂などで仕事をさせていただき、多くの農家の方々とお付き合いをさせていただきました。私が農業委員になって笑われるかもしれませんが、情報収集を図り共有化し、委員の方々、行政そして地域の皆さまの協力を得て、町に貢献できるように努力していきたいと思っております。